

〈開館60周年記念〉特別企画展Ⅱ



Special exhibition commemorating
the 60th anniversary of the museum's opening

堂本印象《應無所住而生其心》1974年
京都府立堂本印象美術館蔵

Muses

The Models Who Inspired Insho's Art

2026 10.15^{thu.}—12.20^{sun.}

開館時間 9:30—17:00 (入館は30分前まで)

休館日 月曜日 (ただし11月23日 [月・祝] は開館)、11月24日 [火]

観覧料 一般600 (480)円 高大生450 (360)円 65歳以上300 (240)円 (要公的証明書)

()内は20名以上の団体料金 中学生以下無料 障害者手帳ご提示の方 (介護者1名を含む) は無料

主催 京都府、京都府立堂本印象美術館 (指定管理者：公益財団法人京都文化財団)、京都新聞 助成 一般財団法人 地域創造
お問い合わせ 〒603-8355京都市北区平野上柳町26-3 Tel 075-463-0007 <https://insho-domoto.com>



堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

モデルになったとユーブたち

〈開館 60 周年記念〉特別企画展Ⅱ

モデルになったミューズたち

展覧会概要

芸術家にとってモデルとは、美貌を超えた崇高な美の象徴 — すなわち「ミューズ」と言えるでしょう。堂本印象（1891-1975）は、初期から晩年までさまざまな女性をモデルに描き続けました。例えば、10 代の学生時代には生活の匂いのする女性たちを生き生きとあらわし、20 代になると花街の女性を取材し、彼女たちの妖艶さと内面に迫りました。こうした青春時代を経て、20 代後半に日本画家として本格的に歩みはじめてからは、女性を芸術的表現の中で捉え、伝統美から革新的な手法にいたるまで、一所にとどまらない多彩なアプローチでその美に迫りました。本展では、堂本印象が挑み続けた深く豊かな女性表現の世界を紹介します。

みどころ

10 代に熱中した「コマ絵」から最晩年の女神まで、印象の描く多彩な女性美の世界を紹介

明治 40 年代、少年時代の印象は、学業のかたわら雑誌の懸賞「コマ絵」（雑誌の挿絵の一種）に投稿して、上位入賞の常連として活躍しました。本展では、コマ絵制作のため描いたスケッチ、大正時代に入り無名の新進気鋭画家時代に好んで描いた竹久夢二風の流行絵、そして日本画家として活躍してから取り組んだ伝統美による女性像、さらに、戦後、革新的表現に挑む中で捉えた現代女性の姿など、多彩な表現を紹介します。

代表作 このはなさくやひめ 《木華開耶媛》や初公開作品もこの機会に

人気作品《木華開耶媛》を下絵と共に紹介します。印象が表現を意図した女神像の謎に迫ります。

国の登録有形文化財の「山のアトリエ」公開に際し、山のアトリエで描いた女優高峰秀子をモデルにした作品を紹介

雑誌の表紙のため、女優高峰秀子をモデルにした原画、スケッチなどを紹介します。
昨年、国の登録有形文化財に登録された「山のアトリエ」での画家とモデルの制作秘話なども紹介。

おもな出展作品

すべて堂本印象作、所蔵は京都府立堂本印象美術館蔵です。



《和倉温泉の女》大正 3 年(1914)

20 代、新進気鋭の画家として
花街などの女性を取材し、
その内面までリアルに表現

初公開

中国の宮廷風俗や
インド・ペルシャのミニアチュールを
参考に理想美を追求した作品。



《写霊図》大正 15 年(1926)

近世風俗を昭和初期の美意識で描いた作品。
衣装の取り合わせや、豊かな色彩感覚なども見どころ。



《桜狩》昭和 3 年 (1928)



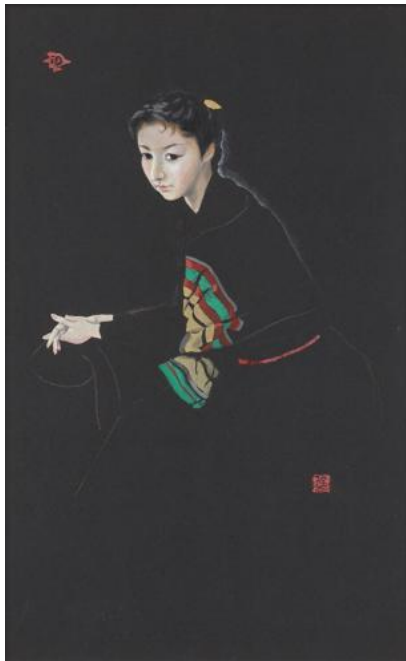
妹がモデルの印象の代表作を
下絵と併せて展示

《木華開耶媛》昭和 4 年(1929)



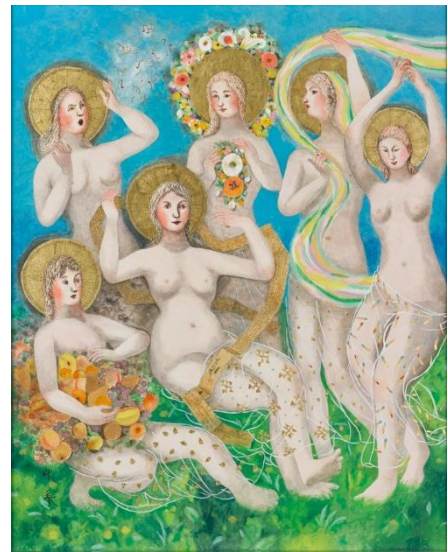
《八時間》 昭和 26 年(1951)

戦後、現代社会に目を向け、働く女性を題材にキュビズムの手法を取り入れ、鮮やかに表現



《黒衣の高峰秀子》昭和 30 年(1955)

「山のアトリエ」で女優高峰秀子をモデルに描いた作品



《應無所住而生其心》 昭和 49 年(1974)

亡くなる前年に描いた作品。清らかな心を持ち、とらわれてはならないという仏教の教えを表す。
東西の美が融合した天女たちの姿からは、芸術的苦悩から解き放たれ、明るさに満ちた画家の境地を示す。

- ▶展覧会名 日：〈開館60周年記念〉特別企画展Ⅱ モデルになったミューズたち
英：Special exhibitionⅡ commemorating the 60th Anniversary of the museum's opening
Muses – The Models Who Inspired Insho's Art
- ▶会 期 2026年10月15日（木）～12月20日（日）
- ▶開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
- ▶休 館 日 月曜日（ただし11月23日（月・祝）は開館）、11月24日（火）
- ▶観 覧 料 一般600（480）円、高大生450（360）円、65歳以上300（240）円（要公的証明書）
※（ ）内は20名以上の団体料金。
※中学生以下および障害者手帳をご提示の方（介護者1名を含む）は無料。
- ▶主 催 京都府、京都府立堂本印象美術館（指定管理者：公益財団法人京都文化財団）、京都新聞
- ▶助 成 一般財団法人 地域創造

関連イベント

●学芸員によるギャラリートーク（申込不要、要観覧券）

日 時：2026年11月3日（火・祝）、11月28日（土） いずれも14:00～
会 場：2階展示室

野外イベント

●第8回野外いけばな展

本展覧会にあわせて、京都の華道界の次代を担う若手華道家による
いけばな展を開催。

会 期：2026年10月15日（木）～10月18日（日）
※10月15日午前は生け込みの様子をご覧ください。
会 場：美術館庭園【入場無料】

特別公開

●「山のアトリエ」公開【期日限定】

昨年8月に国の登録有形文化財に登録された「山のアトリエ」の改修を終え、期日限定で公開。
公開日：2026年10月18日（日）、11月22日（日） ※詳細は当館HPにてお知らせします。

報道機関	京都府立堂本印象美術館
お問合せ先	TEL：075-463-0007 FAX：075-465-3099 MAIL： museum@d-insho.jp